- ※本レジメン集は外来化学療法加算の算定を行っているレジメンのみを掲載。※当加算を取れない治療法や削除となったレジメン等のため、登録記号・番号に欠番がある場合あり。

削除 TMZ単剤療法(経口 初発時)

O悪性神経膠腫2

削除 TMZ単剤療法(経口 再発時)

O悪性神経廖腫3

削除 放射線併用Bev+TMZ療法→O8、O9に変更

O忘世什胜廖庭*								
対象疾患		悪性神経膠腫	レジメン名	Bev 単剤療法 (2週間隔法) (再発時)				
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	14日					
総コ	ース数	制限なし						
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1		(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1		
2	ベバシズマフ		10 mg/kg	点滴静注	90分	day 1		
	生食100 mL	生食100 mL		小加印工	※備考欄参照	day 1		
3	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1		
	□管外漏出 リスク分類	Bev: 非炎症性						
催吐	上性リスク分類	Bev:最小度						
	インラインフィルター の要不要		不要					
備考欄 ※Bevは、初回は90分かけて投与すること。初回時の 出来、さらに2回目も忍容性が確認出来れば、3回目								

U悉1	O悪性神経廖腫5							
	対象疾患 悪性神経膠腫		レジメン名	放射線併用TMZ単剤療法(初発時、放射線併用期)				
1コー	1コースの期間(休薬期間含む)		70日※備考欄参照					
総コ	シュース数 1コース							
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1	生食100 mL	(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1~42 ※備考欄参照		
2	テモゾロミド(TMZ) 注射用水100 mL 生食250 mL		75 mg/m ² ※備考欄参照 1 P	点滴静注	90分	day 1~42 ※備考欄参照		
3	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1~42 ※備考欄参照		
	□管外漏出 リスク分類			TMZ:炎症性				
	上性リスク分類		TMZ :中等度 MZ は中等度であるが、連日投与のため制吐療法については確立した方法はない。 適宜、 5 - HT_3 受容体拮抗薬、 D_2 受容体拮抗薬等を用いる(メーカー回答より)					
インラ	ラインフィルター の要不要			不要				
	備考欄	上、血小板数100,000 Grade 1以下)を満たし	こより放射線治療! /mm³以上、脱毛、 たときに限り、42日 50 Gy/30 fr/6 wで	期間が延長し 悪心嘔吐を 間連日投与 施行。但し、	ンた場合、継除く非血液等 除く非血液等 ・を最長49日 放射線の初降	続基準(好中球数1,500/mm³以 学的副作用(NCI-CTC Grade)が まで延長することができる。 回照射日はTMZ投与開始日と同		

U宏性种植廖庭0							
対象疾患 悪		悪性神経膠腫	レジメン名	放射線併用	TMZ単剤療	聚法(初発時維持療法期)	
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	28日				
総コ	ース数	6コース					
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日	
1	生食100 mL	(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1~5	
	テモゾロミド((TMZ)	150 mg/m^2				
2	注射用水100) mL	※備考欄参照	点滴静注	90分	day 1~5	
	生食250 mL		1 P				
3	3 生食50 mL(フラッシュ用)		1 P	点滴静注	全開	day 1~5	
	1管外漏出 リスク分類			TMZ:炎症性			
TMZ:中等度 催吐性リスク分類 催吐性リスク分類 ※TMZは中等度であるが、連日投与のため制吐療法については確立した方 適宜、5-HT3受容体拮抗薬、D2受容体拮抗薬等を用いる(メーカー回名							
	ラインフィルター の要不要	不要					
	備考欄	※TMZは、1V当たり41 mLの注射用水で溶解すること(TMZ濃度=2.5 mg/mLとなる)。					

U悉1	U恶性种种多胆/							
対象疾患		悪性神経膠腫	レジメン名	Bev 单剂療法 (3週間隔法) (初発時、単剤療法期)				
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	21日	•				
総コ	ース数	制限なし						
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1	生食100 mL	(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1		
2	ベバシズマフ	T (Bev)	15 mg/kg	- 点滴静注	90分	day 1		
	生食100 mL		1 P		※備考欄参照	day 1		
3	3 生食50 mL(フラッシュ用)		1 P	点滴静注	全開	day 1		
	L管外漏出 リスク分類	Bev: 非炎症性						
催吐	上性リスク分類	Bev:最小度						
	ラインフィルター の要不要	不要						
	備考欄	※Bevは、初回は90分 出来、さらに2回目も忍				認出来れば、2回目は60分で投与 投与出来る。		

	生神経廖腫8 疾患	悪性神経膠腫	レジメン名	放射線併用	Bev+TMZ療法	去(初発時、放射線併用期)		
1コースの期間(休薬期間含む)		70日※備考欄参照						
	ース数	1コース						
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1	テモゾロミド(TMZ)		75 mg/m ²	経口		day 1~42 ※備考欄参照		
2		(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1、15、29、42 ※備考欄参照		
3	ベバシズマフ 生食100 mL	プ(Bev)	10 mg/kg 1 P	点滴静注	90分 ※備考欄参照	day 1、15、29、42 ※備考欄参照		
4	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1、15、29、42 ※備考欄参照		
	1管外漏出 リスク分類			Bev:非炎	症性			
催吐性リスク分類		Bev:最小度 TMZ:中等度 ※TMZは中等度であるが、連日投与のため制吐療法については確立した方法はない。 適宜、5-HT $_3$ 受容体拮抗薬、 D_2 受容体拮抗薬等を用いる(メーカー回答より)						
	ラインフィルター の要不要		不要 ————————————————————————————————————					
上、血小板数100,000 Grade 1以下)を満たし ※Bevは、初回は90分 出来、さらに2回目もる ※放射線療法は線量			により放射線治療 /mm ³ 以上、脱毛、 たときに限り、42 l かけて投与するこ 忍容性が確認出来 :60 Gy/30 fr/6 wで 照射もBev及びTM	期間が延長し 悪心嘔吐を 日間連日投与 と。初回時の れば、3回目 施行。但し、 MZの最終投-	ンた場合、継続除く非血液学的 除く非血液学的 所を最長49日ま の忍容性が確認 以降30分で投 放射線の初回 ち日と同日とな	基準(好中球数1,500/mm ³ 以 内副作用(NCI-CTC Grade)が で延長することができる。 出来れば、2回目は60分で投 与出来る。 照射日はBev及びTMZ投与開 るようにする(メーカー資料よ		

U思f	O悪性神経廖腫9								
	:疾患	悪性神経膠腫	レジメン名	放射線併用Bev+TMZ療法(初発時、維持療法期)					
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	28日						
総コ	ース数	6コース							
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日			
1	テモゾロミド((TMZ)	150 mg/m ² ※備考欄参照	経口		day 1~5			
2	生食100 mL	(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1, 15			
3	ベバシズマン 生食100 mL		10 mg/kg 1 P	点滴静注	90分 ※備考欄参照	day 1, 15			
4	生食50 mL(1 P	点滴静注	全開	day 1、15			
	血管外漏出 リスク分類		Bev: 非炎症性						
催吐	上性リスク分類	Bev:最小度 TMZ:中等度 $\%$ TMZは中等度であるが、連日投与のため制吐療法については確立した方法はない。 適宜、5-HT $_3$ 受容体拮抗薬、 D_2 受容体拮抗薬等を用いる(メーカー回答より)							
	ラインフィルター の要不要			不要					
	 ※TMZは分1投与とし、空腹時投与が望ましいとされる(食事により吸収阻害される)。 ※2コース目以降TMZは200 mg/m²へ増量することができる。 ※Bevは、初回は90分かけて投与すること。初回時の忍容性が確認出来れば、2回目は60分で投出来、さらに2回目も忍容性が確認出来れば、3回目以降30分で投与出来る。 								

U恶性忡 在 多								
対象	疾患	悪性神経膠腫	レジメン名	TMZ単剤療法(再発時)				
1コー	1コースの期間(休薬期間含む)		28日					
総コ	ース数	制限なし						
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1	生食100 mL	(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1~5		
	テモゾロミド((TMZ)	150 mg/m^2					
2	注射用水100	0 mL	※備考欄参照	点滴静注	90分	day 1~5		
	生食250 mL		1 P					
3	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1~5		
	1管外漏出 リスク分類			TMZ:炎组	定性			
催吐	上性リスク分類				吐療法につ	いては確立した方法はない。 いる(メーカー回答より)		
	インラインフィルター の要不要 不要							
備考欄 ※TMZは、1V当たり41 mLの注射用水で溶解すること(TMZ濃度=2.5 mg/mLとなる)。					E=2.5 mg/mLとなる)。			